

北里大学病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	産後出血に関する後方視的検討(B23-109)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部産科学 教授 落合 大吾
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・ 目的	産科危機的出血は妊産婦死亡の主要な原因の一つである。当院の近隣地域の分娩数は年間約 9000 件だが、当院は地域で発生した産科危機的出血を 24 時間体制で 100%受け入れ、造影 CT 検査の段階から Interventional Radiology (IVR)専門医と連携し治療を行っております。しかし、適切な労務環境の構築と現行の医療体制継続を両立することが困難になりつつあります。そこで、これまでの実態調査を目的に分娩後異常出血のため当院で診療した症例を検討しました。
調査データ 該当期間	2018 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2018 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に当院で産後出血の治療を行った患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	2018 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 当院で診療した出血症例に対して、患者様背景や出血状況、治療内容や予後について検討します。
試料/情報の 他の研究機関への提 供 および提供方法	他の機関への資料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始す る予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 本研究の遂行のための費用は、北里大学産婦人科研究費を使用します。 本研究に関しては、北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されています。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

	<p>また、研究への診療情報の使用に、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部産科学・教授 担 当 者：落合 大吾（オチアイ ダイゴ） 電 話：042-778-8111（代表）</p>
備 考	